

各位

「きぼう」利用 高品質タンパク質結晶生成実験への参加 に関するお知らせ

インタープロテイン株式会社（代表取締役社長：細田 雅人、本社：大阪市北区、以下、インタープロテイン）は、国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟を利用する高品質タンパク質結晶生成実験の第2期第1回実験に、民間企業の一つとして参加することになりましたので、お知らせいたします。

本実験は、独立行政法人 宇宙航空研究開発機構（Japan Aerospace Exploration Agency, JAXA）によって主導され、当社が提供するタンパク質試料についても宇宙実験（注1）が実施されます。なお、国際宇宙ステーションに長期滞在中の若田光一宇宙飛行士が、第1回実験の作業を担当する予定です。

本実験において、当社は、タンパク質と低分子化合物からなる共結晶の取得を目指しています。「きぼう」の微小重力環境にて生成された高品質の共結晶から得られる化合物の結合ポーズに関する詳細な情報を基に、化合物のデザイン及び合成展開がより効率的に推進されることを期待しています。

JAXAは、これまでに培ってきた世界最先端の宇宙における高品質タンパク質結晶生成技術やノウハウを有すると共に、民間企業にも宇宙実験機会を提供していることから、当社は今後もこの機会を積極的に利用して参ります。

（注1）第2期実験シリーズ 第1回実験

打上日：平成26年3月26日
打上射場：カザフスタン バイコヌール宇宙基地
帰還予定：平成26年5月14日
着陸地点：カザフスタン
帰還機：ソユーズ宇宙船

インタープロテインについて：

インタープロテインは独自の *in silico* 分子設計戦略（INTENDDD、INTERprotein's Engine for New Drug Design）に基づいた低分子医薬品の研究開発ならびにヘリックス・ループ・ヘリックス型立体構造規制ペプチド（マイクロ抗体）技術に基づいた中分子（ペプチド）医薬品の研究開発を行っています。これらのプラットフォーム技術は、タンパク質間相互作用（protein-protein interaction, PPI）阻害薬のみならず、PPI 阻害薬以外の創薬研究にも適応可能です。また、マイクロ抗体の技術は、特に標的分子が α ヘリックス構造を認識する場合に威力を発揮しますが、 α ヘリックス構造を認識しない標的、さらにはX線結晶構造が得られていない標的にも適応可能です。

参考リンク：宇宙航空研究開発機構

「きぼう」利用 高品質タンパク質結晶生成実験への民間企業の参加について
http://www.jaxa.jp/press/2014/03/20140320_protein_j.html

以上

本件に関するお問い合わせ

インタープロテイン株式会社
事業開発本部 小松 弘嗣
電話：042-770-9477
FAX：042-770-9477
E-mail：info@interprotein.com